

大学における依存症対策の調査について(調査結果)

1 調査目的

道では依存症対策として、北海道アルコール健康障害対策推進計画及び北海道ギャンブル等依存症対策推進計画を策定後、各計画に基づき対策を推進しており、未成年者や若年者の依存症対策も重要であることから、大学及び短期大学における依存症対策の実態について把握し、若年層の依存症対策の推進に活用する。

2 調査対象・回収率

	大学数	回答数	回収率(%)
国立大学	7	6	85.7
公立大学	6	5	83.3
私立大学	24	20	83.3
短期大学	15	11	73.3
計	52	42	80.8

3 調査期間

令和2年12月28日～令和3年1月22日

4 調査方法

各大学あて、メールにより調査票を送付、回収

<調査結果概要>

- ・ 事前に電話により各大学へ調査協力について説明、依頼したため調査票の回収率は80.8%と高かった。
- ・ 学生の生活や健康に係る相談窓口は各大学に設置されていた。
- ・ 学生の相談窓口に寄せられている相談の状況では、多い順にゲーム依存6件、アルコール健康障害5件、ギャンブル・市販薬・買い物2件、ニコチン・人間関係が1件
- ・ 相談は受けていないが、学生生活に支障があった学生の話では、多い順にゲーム依存7件、アルコール健康障害5件、ギャンブル3件、ニコチン・恋愛が2件、ネット依存1件
- ・ 大学での依存症対策（普及啓発等）の実施状況では、回答のあった42大学のうち31大学(73.8%)で実施ありで、薬物依存が最も多く、次いでアルコール健康障害が多かった。ギャンブル依存は取組内容としては少数だった。
- ・ その他の実施では、喫煙防止・たばこが最も多く、次いでネット・SNS、ゲーム依存、DV、悪質商法トラブルだった。
- ・ 具体的には、新入生の入学時オリエンテーション等のタイミングで、啓発用のポスター、パンフレット、学生生活ハンドブックなどの媒体を配布、掲示や、大学ホームページやポータルサイトによる情報提供、外部講師等による講演、カリキュラムに講義を入れるなどの方法であった。
- ・ 大学としてどのような対策があるかについては、講義やゼミによる方法やポスター等の啓発資材の活用、相談窓口の周知と連携、経験者の実話、体験を聴く機会などの意見があった。
- ・ 道が作成したリーフレット等の設置配布に関しては、回答のあった42大学で可能な回答だった。

5 調査結果

1-（１） 学生の生活や健康に係る相談窓口はありますか

あり	42
なし	0

※ 別紙 学生の生活や健康に係る相談窓口参照

1-（２）-① 依存症やアルコール健康障害が背景にあると感じた相談を受けたことがありますか

			内訳			
	計	割合(%)	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学
あり	12	28.6	6	0	4	2
なし	30	71.4	0	5	16	9
計	42	100.0	6	5	20	11

1-（２）-② ①で相談ありの場合、どのような依存症やアルコール健康障害の問題がありましたか

	主な内容
1	・パチンコ等のギャンブル ・ネット依存 ・アルコール依存症（定期受診、投薬治療）：軽い酩酊状態で授業に出席、アルコール依存症であることを周囲に隠すため周囲とのコミュニケーションを避ける。
2	ギャンブル依存症があり金銭管理が難しい、アルコールの問題があり、修学に支障をきたす、交通事故を起こすなど
3	アルコール依存の傾向がある。
4	・ゲームに熱中し昼夜逆転の生活で、授業を欠席がちとなり単位が思うように取れない。 ・登校時や日中にもアルコールを飲用し、向精神薬の服用を中断。幻聴・幻覚などの陽性症状がでていた。
5	ネット依存やゲームがやめられないなどで、登校できずに退学することとなった。
6	飲酒習慣による生活習慣の乱れなど
7	買い物依存、ゲーム依存、配信者への課金がやめられない（2大学）
8	ニコチン・ゲーム障害・人間関係嗜癖
9	咳止め薬の乱用
10	薬（市販薬）の多量服薬

1-（2）-③ 相談は受けていないが、依存症・アルコール健康障害により学生生活に支障があった学生の話を書いたことがありますか

			内訳			
	計	割合(%)	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学
あり	10	23.8	4	0	4	2
なし	32	76.2	2	5	16	9
計	42	100.0	6	5	20	11

相談ありの場合、具体的内容

	主な内容
1	・ギャンブルによる金銭面及び学業生活、適応上の問題。 ・ネット依存による学業生活適応上の問題。
2	ゲーム依存、恋愛依存、ギャンブル依存、ニコチン依存、アルコール依存（2大学）
3	ゲームに依存して生活が昼夜逆転する
4	ゲームにのめり込み、生活リズムが乱れて欠席が多くなり学業に支障を来している
5	（ご本人は来談していないが）ゲーム依存症の学生の親御さんからのご相談があった。
6	①授業中にウトウトしたり、気を失うほどの眠気に襲われている学生が保健室に来室。話を聞くと、授業のある平日であっても1日7時間くらいはゲームに没頭しているとのこと。ゲームを止められない、これが普通の生活になっているとのこと ②窃盗を犯した学生の動機として、ゲームの課金の補填ではないかと聞いた。（噂のため真意不明）
7	適度な飲酒
8	大量飲酒の習慣があるゼミ生があり、ゼミも欠席が多く、心配していると、教員から相談があった。
9	酩酊し、意識消失の結果、道路で倒れ、救急車で運ばれた等

1-（3）大学で依存症対策（啓発活動）などを実施していますか。

			内訳			
	計	割合(%)	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学
あり	31	73.8	6	4	15	6
なし	11	26.2	0	1	5	5
計	42	100.0	6	5	20	11

※ 実施している場合は、該当するものに○をつけてください

		内訳			
	計	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学
ギャンブル等	5	0	0	4	1
アルコール	24	6	3	11	4
薬物	28	5	2	15	6
その他	14	1	1	8	4

	その他の主な内容
1	ゲーム障害（3大学）
2	インターネット・SNS
3	SNS依存
4	SNS利用、喫煙
5	喫煙防止・禁煙
6	ニコチン依存（2大学）
7	たばこ、DV（2大学）
8	悪質商法トラブル（2大学）
9	厳格な依存症対策ではないが、アルコールに関しては一気飲み、アルハラ、未成年飲酒の禁止、薬物に関しては懲戒処分の対象として指導している

1-（４）（３）で依存症対策を「実施している」と回答した場合は、どのような方法で行っていますか

	主な内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムに盛り込み講義を行っている。 ・新入生研修会の際にアルコールに関する講演を行っている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・学部新入生全員に対し、学修管理システムを利用して、飲酒のリスク・薬物乱用防止に関する情報を提供して自学自習してもらう健康安全教育を実施している。 ・新入生オリエンテーションの際に、薬物を使用してはいけない、お酒との適度な付き合い方などのパンフレットを配布する他、飲酒事故防止のための講演を行っている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・入学時にお酒との適度な付き合い方、薬物依存に関するパンフレットを配布している。 ・掲示板に依存症についてのポスターを掲示している。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生ガイダンスの際に学生生活ガイドブックなどのパンフレットを配布している。 ・カリキュラムに盛り込み講義を行っている。 ・学内広報物、ホームページ、学内掲示などにより注意喚起している。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生履修ガイダンスの際に、アルコール、薬物の危険性についてスライドを使用しながら説明している。 ・講義を行っている。 ・パンフレット・ポスターを配置している。
6	<p>ホームページで「アルコール薬物問題全国市民協会」「青少年の薬物乱用を防止するための取組み（内閣府）」などをリンクして示している。ポスター、チラシなどでは「イッキ飲み防止連絡協議会」などのアルコールに関連した健康問題について啓発を行っている。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・4月第1週に各学年のガイダンスに健康面での時間を設定し、アルコール、薬物依存症について話している。 ・今年度は、必修の授業科目の中で、薬物乱用防止に関して、学部1年生を対象にオンラインでビデオ配信。
8	提供されたポスター掲示や資料の配布による周知
9	<ul style="list-style-type: none"> ・半期ごと（4月・10月）に実施するガイダンスで学生支援委員長から伝達の上指導を行っている。 ・学生生活ハンドブックに飲酒や薬物に関する学校生活上の注意点を掲載し、新学期に配布している。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・入学時にアルコールパッチテスト実施 ・廊下にポスター掲示（アルハラに対する注意喚起）
11	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関よりいただく啓発ポスターの掲示を随時行っています。 ・保健室だよりを活用し、お酒との過度な付き合い方やゲーム障害を取り上げ、啓蒙しています。
12	オリエンテーションの際に薬物依存、お酒との過度な付き合い方などのパンフレットを配布している。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生向けの講義において、それぞれの分野の外部講師を招いて講演会及びパンフレット等の配布 ・定期的に学生向けポータルサイトにて注意喚起の実施 ・学内掲示板に注意喚起のポスター等を掲示
14	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発講演を開いている。 ・学生支援ポータルサイトの掲示板、メールを通じて、情報発信をしている。
15	学生にポスターやリーフレットを設置している。
16	年度はじめに全学生に配布する「学生生活の手引き」にて注意事項を記載し、オリエンテーション時に注意喚起している。
17	新入生オリエンテーションの際に、外部講師及び学内保健師による講演を実施している。
18	新入生ガイドにて注意してほしいこと記載し、配布している。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・各機関からのポスター掲示 ・新入生に対して、ギャンブルやアルコール・薬物依存症に関する冊子等を配布
20	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスでのパンフレット配布や注意アナウンスをしている。 ・医療系のための学部によってカリキュラムに盛り込まれている。
21	<ul style="list-style-type: none"> ・例年4月に行っている新入生向けのガイダンス時に警察署および消防署の方にお越し頂き、講話をいただいております。その中で依存について、一部触れさせていただいております。

22	・オリエンテーションの際に口頭で注意喚起している。 ・パンフレットやポスターが届いた場合、順次、配布や掲示をし、注意喚起している。
23	・大学ＨＰや学生便覧に掲載し周知、啓発している ・ポスターを掲示している
24	・パンフレット配布、ポスターや新聞記事の掲示、学生生活の手引きで「薬物の乱用防止」や「アルコールハラスメント」について情報提供するなど
25	オリエンテーションの際に、「薬物のない学生生活のために」などのパンフレットを配付している。
26	・関係機関よりいただく啓発ポスターの掲示を随時行っています。 ・保健室だよりを活用し、お酒との過度な付き合い方やゲーム障害を取り上げ、啓蒙しています。
27	オリエンテーションの際に薬物依存、お酒との過度な付き合い方などのパンフレットを配布している。
28	・１年生向けの講義において、それぞれの分野の外部講師を招いて講演会及びパンフレット等の配布 ・定期的に学生向けポータルサイトにて注意喚起の実施 ・学内掲示板に注意喚起のポスター等を掲示
29	・カリキュラムに盛り込み講義を行っている ・新入学生オリエンテーション時に、「新入生へのメッセージ」というパンフレットを配布している。 ・学内研修で、ソーシャルメディアリテラシー講座を実施。

1-（５） 学生に対する依存症やアルコール健康障害に係る対策について、大学としてどのような対策があると良いと思いますか

	主な内容
1	依存症やアルコール健康障害に関する講義をしたり、ポスターやチラシを随時掲示したりして、常に学生がこれらの問題に触れることができるよう工夫をすること。
2	依存症やアルコール健康障害により支障があった学生生活のエピソードを紹介し、その後の人生への影響を紹介する。
3	学生が抱える問題について関係者が情報共有し、組織的に十分な対応ができるような体制・対策
4	・依存症に関する正しい知識と理解が得られていない上、依存症への偏見もあり、依存症の学生の早期治療や適切なサポートに結びついていないという課題があるように感じている。SNS使用やイベントなどを実施して、正しい情報の提供を行っていくのが良いと思う。 ・本件に関する内容が盛り込まれた講義の実施があれば良いと思う。
5	講義やゼミなどで取り上げる。
6	カリキュラムに組み込み、専門の方から具体的な事例など交えて講話をしていただく。
7	「学生に対する」ではなく、若者全体に対する幅広い周知が必要と思われます。
8	国・道などの行政の指針に基づく具体的な指導方法により、各大学が学生指導を行えると良いと思います。
9	・未成年の飲酒に関する注意喚起ビデオを入学時に見せる ・サークル長を呼び、適切なお酒の付き合い方、未成年の後輩が飲酒していた場合の対応マニュアルなど配布
10	資料やリーフレットがあると良いかと思います。
11	入学後早々に、学生が陥りやすい依存症について具体的に教育すると良いと考えます。
12	情報提供・経験者の実話を聞く機会
13	ポスター掲示やパンフレット配布では学生も内容を確認しないことが多いため、専門の方を招いての講演会等を年１回とかではなく定期的に実施できれば良い。

14	オリエンテーションや大学祭などで、講演など行いリーフレットを配布する。
15	スマートフォンなどで見るができるよう、短い動画などをポスターやリーフレットにQRコードなどを活用し掲載していただけると良いと思う。
16	・外部の専門家による講和を教職員が聞ける機会（松本俊彦先生など） ・様子の変化やチェックポイントなどを教職員が把握し、感度をあげる。
17	注意を促す啓蒙活動
18	相談が可能な機関や窓口との連携
19	禁煙治療の自己負担額に対する補助等
20	・学生を孤立させない、大学に帰属意識を持てるような授業や活動を工夫する。 ・依存症の基本的な理解、および学内外の相談窓口を周知する。
21	ポスターやパンフレット等を活用して、学生に周知する。その際、簡易的な自己チェックリスト等、学生が興味をひくような内容を盛り込む。（コロナ禍の為、オンラインやネット等を活用する。）
22	講義やオリエンテーション時に対面で講演等が行えると良い。
23	依存症の問題は、家族や身近な方の気づきによって支援につながる場合が多いため、当事者の支援だけではなく、関係者が相談しやすい仕組み、対策があるとよいと思う。カウンセリングだけでなく、生活習慣の見直しなど総合的な相談ができる医療機関、専門機関との連携が可能になると望ましいと思う。依存症の理解が進まないため、依存症が治療できることなどをわかりやすく理解できる啓発資料があれば、潜在化している依存症を顕在化できる可能性がある。
24	資料やリーフレットがあると良いかと思います。
25	セミナーを開催する。担任等から聞き取りを行う。
26	・パンフレットやポスターなど用いて普段の生活の中で目にする(意識する)機会の増加 ・担当者間（学生部、保健室、相談室、A D（担任））の連携 ・必要に応じて相談室から医療機関へつなげるシステムの構築
27	入学後早々に、学生が陥りやすい依存症について具体的に教育すると良いと考えます。
28	情報提供・経験者の実話を聞く機会
29	ポスター掲示やパンフレット配布では学生も内容を確認しないことが多いため、専門の方を招いての講演会等を年1回とかではなく定期的に実施できれば良い。
30	・外部の専門家による講和を教職員が聞ける機会（松本俊彦先生など） ・様子の変化やチェックポイントなどを教職員が把握し、感度をあげる。
31	・学生を孤立させない、大学に帰属意識を持てるような授業や活動を工夫する。 ・依存症の基本的な理解、および学内外の相談窓口を周知する。
32	早い段階での啓蒙教育は、有効だと思います。また、相談窓口を周知すること。

2 大学において、北海道が作成したリーフレット等の設置や配布は可能ですか

			内訳			
	計	割合(%)	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学
可	42	100.0	6	5	20	11
不可	0	0.0	0	0	0	0
計	42	100.0	6	5	20	11

3 その他、学生・職員等の依存症対策に関してご意見等

	ご意見等
1	無料の出張講座等があり、その情報が広く公開されていれば、学内の研修の際に活用させていただきたいと思います。
2	・学生にとって「依存症はとても身近な問題である」ということを伝える方法についても検討していきたい。 ・孤独感や疎外感が依存症につながる可能性も高いため、学生相談やピアサポートにおける学生へのサポートの充実が重要になってくると考えている。
3	オンラインで視聴できる依存症防止に関する映像コンテンツ等があれば、学生・教職員に広く周知できると思います。
4	学生との会食の際、学生のお酒の飲み方を注意できるよう教職員に対しても注意喚起を行えるよう意識作りをしていきたい。
5	大学で依存症対策（啓発活動）などの実施について、以前はオリエンテーションの際に警察署に依頼して「薬物」について啓 発を行っていたが、コロナ化の影響で学生への周知の機会が減っており、ポスターやリーフレットでの啓発が主になっている。
6	大学と地域・専門機関が連携して依存症への対応に取り組める体制があると良いと思います。
7	広い意味では携帯電話依存などを生じている学生も多々いると考えられるので、「依存する」メカニズムや対応を理解でき、依存的な使用に至らぬように予防教育できるツールを開発し、ポピュレーションアプローチをしていただくことも有効と考える。

学生の生活や健康に係る相談窓口 （回答のあった各大学・短期大学42大学） （別紙）

	大学名	有・無	窓口の名称	担当分掌	主な相談内容
国立大学	1 旭川医科大学	有	①保健管理センター ②学生支援課学生総務係	①健康 ②生活	①心身の健康に関すること ②経済的な相談、その他学生生活に関わる様々な相談
	2 小樽商科大学	有	①保健管理センター ②学生何でも相談室	①保健管理センター ②学生支援課学生支援係	①健康、生活上の様々な悩み、メンタルヘルスマその他 ②学業、適応、進路、生活、その他
	3 北見工業大学	有	学生支援担当	学生生活の相談	学生生活、健康状態に係る相談
	4 北海道教育大学	有	①学生支援課学生支援グループ（札幌）・各校学務グループ（旭川、釧路、函館、岩見沢） ②保健管理センター各分室	①学生支援全般に関すること ②健康管理（健康診断）・心身の健康に関すること	①学生生活、経済的支援、課外活動支援に関する相談 ほか ②健康相談、心理相談（カウンセリング）、テレビ電話相談、メール相談、電話相談、対人関係・自分・性格・精神面に関する相談 ほか
	5 北海道大学	有	①学生相談室 ②保健センター ③2番窓口（高等教育推進機構1階） ④各部局相談室	①学生相談総合センター ②保健センター ③学務部学生支援課、学生総合担当 ④各部局	①履修や勉強、研究、進路、家族や友人との関係、性自認、心身の不調など ②内科、精神衛生相談（精神科）、歯科相談、栄養健康相談、女子学生相談 ③大学生生活全般の相談 ④履修や勉強、研究、進路、家族や友人との関係、性自認、心身の不調など
	6 室蘭工業大学	有	①保健管理センター ②学生総合相談室	①医師、心理師、保健師 ②教員	①健康問題、メンタルヘルス関連問題 ②学業、生活
公立大学	7 公立千歳科学技術大学	有	①保健室 ②健康相談 ③学生相談 ④学生支援課学生係	①学生支援課健康相談係 ②学校医・学生支援課健康相談係 ③臨床心理士・学生支援課健康相談係 ④学生支援課学生係	①学生の生活・健康に関すること全般 ②学生の健康に関すること全般。 ③主にメンタル面での相談 ④学生生活全般での相談窓口
	8 公立はこだて未来大学	有	①大学事務局 ②医務室 ③学生相談室	①教務課学生・留学担当 ②教務課学生・留学担当 ③教務課学生・留学担当	①学生生活に関すること ②学生生活及び健康に関すること ③学生生活に関すること
	9 札幌医科大学	有	保健管理センター	学生の保健管理	・健康相談 ・学校生活での悩み相談
	10 札幌市立大学	有	保健室	学校保健安全法に基づく健康診断、健康相談及び健康管理等を行う。	・身体の不調等の健康に関する悩み事 ・身体的及び精神的なことに係る相談等（非常勤カウンセラーによる学生相談）
	11 名寄市立大学	有	健康サポートセンター	こころと体の相談	身体の不調、対人関係や学業の悩み 等

	大学名	有・無	窓口の名称	担当分掌	主な相談内容
私立大学	12 旭川大学	有	学生相談室	大学教員 学外カウンセラー	学生生活全般の相談内容
	13 札幌大谷大学	有	①保健室 ②学生相談室	①学内で発生した怪我や体調不良の応急処置・対応 ②学生生活において起こりうる問題の相談	①身体面の相談（頭痛、生理痛など） ②性格、対人関係、修学の困難さ、メンタルヘルス
	14 札幌国際大学	有	①保健室 ②学生相談室 ③学生サポートルーム	①健康 ②心理 ③生活	①健康に関すること ②様々な問題や悩み ③福祉的なこと・合理的配慮について
	15 札幌大学	有	①学生課 ②学生相談室 ③医務室	①私生活、学生生活、健康等 ②①同様 ③①同様	①私生活、学生生活、健康等 ②①同様 ③①同様
	16 天使大学	有	①学務課学生担当 ②保健相談室 ③学生支援教員・メンター教員	①学務課 ②学務課 ③各学科・研究科	①学生の生活や健康に係る相談全般 ②学生の生活や健康に係る相談全般 ③学生の生活や健康に係る相談全般
	17 星槎道都大学	有	①学生生活カウンセラー ②学生保健アドバイザー ③スクールカウンセラー	①本学学生の学生生活に関する相談等に対してカウンセリングを行う。 ②本学学生の保健衛生に関する相談等に対してカウンセリングを行う。 ③本学学生に対する相談・助言、保護者や教職員に対する相談、関係学内会議等への参加、教職員や学生への研修や講話、相談者への心理的な見立てや対応、ストレスチェックやストレスマネジメント等予	①個人的な悩みや心配ごとなど学生生活全般に関わること（心理性格・対人関係・心身健康・進路進学・学生生活） ②体調がすぐれない、心配なことがあるが病院、診療科がわからないなど、健康全般に関すること ③個人的な悩みや心配ごとなど学生生活全般に関わること（心理性格・対人関係・心身健康・進路進学・学生生活）
	18 日本医療大学	有	カウンセリングルーム	学生相談事項	学校の生活に係る全般
	19 日本赤十字北海道看護大学	有	①学生相談室 ②健康相談	①、②学務課学生係	①学生の学業、生活面などでの問題 ②学生の身体面の問題
	20 函館大学	有	①事務居窓口 ②保健室 ③ピア・サポートセンター	①学務課 ②学務課 ③ー	①授業、履修、学生生活上の問題・奨学金など ②健康相談・受診先の紹介・病気やケガの応急処置など ③学生生活・対人関係・心身の健康・悩みや不安など（学生相談業務）
	21 北翔大学	有	①学生生活支援オフィス ②学生相談室	①相談窓口 ②相談業務	①相談の窓口業務を担当 ②実際の相談業務を担当
	22 北星学園大学	有	①学生相談室 ②医務室 ③総合相談窓口	①学生生活支援課 ②学生生活支援課 ③教育支援課	①メンタルヘルスに関わる相談 ②健康相談 ③学生生活全般、相談先の振り分け

	大学名	有・無	窓口の名称	担当分掌	主な相談内容
私立大学	23 北海学園大学	有	学生部	—	奨学金や課外活動など ※その他別添参照
	24 北海商科大学	有	①医務室 ②学生支援センター事務室 窓口	①学生及び教職員の健康管理 ②学生生活に関する全般	①体調不良や健康についての相談や対応方法について ②学生生活における全般相談
	25 北海道医療大学	有	①学生支援課(当別キャンパス)・医療技術学課(札幌あいの里キャンパス担当) ②保健センター ③学生相談室	①相談全般 ②健康相談 ③心理相談	①修学・生活・経済上の相談、事件・事故、ハラスメントなど相談全般 ②体調不良・けが等健康面に関する事項、抗体価・ワクチン等の感染症予防に関する事項
	26 北海道科学大学	有	①学生課 ②医務室 ③学生相談室	①学生生活やクラブ活動の支援、奨学金業務 ②健康診断などの健康管理業務、感染症の情報集約、障害学生支援 ③学生相談	①学生生活全般、奨学金等 ②健康相談等 ③修学、学生生活、就職、人間関係等
	27 北海道情報大学	有	①保健センター ②学生相談室 ③すけっとルーム ④ハラスメント相談窓口	①保健師 ②臨床心理士・相談員(教職員) ③事務職員 ④事務職員	①主に健康について。その他、学業や友人関係等、学生生活全般について ②主にメンタルヘルスについて。その他、学業や友人関係等、学生生活全般について ③日常生活に関する事等、相談内容により、適切な学内の窓口への案内 ④セクシャルハラスメント・アカデミックハラスメント等について
	28 北海道千歳リハビリテーション大学	有	①保健管理センター ②学務課 ③総務課	①— ②— ③—	①疾病の予防、健康相談、心理精神、保健衛生に関すること ②学生生活(学業に関すること) ③学校生活(経済に関すること)
	29 北海道文教大学	有	①保健管理センター ②学生相談室	①— ②—	①健康相談 ②学生生活全般(主に精神面や生活面)の相談
	30 酪農学園大学	有	①学生相談室 ②医務室 ③学生支援課	①心身上の諸問題や課題に関し相談に応じる ②健康を保持・増進させるため相談に応じる。 ③学生の生活に関わる様々なトラブルに対応	①心の健康、修学、対人関係、学校生活、進路など ②怪我など応急処置、気分が悪い時の対応、体調の不安や受診先の相談など ③修学上のトラブルや生活上の困難に対応
	31 稚内北星学園大学	有	学生支援課	学生・生活全般	生活に関する全般的な相談

	大学名	有・無	窓口の名称	担当分掌	主な相談内容
短期大学	32 旭川大学短期大学部	有	学生相談室	短大教員、学外カウンセラ	学生生活全般の相談内容
	33 帯広大谷短期大学	有	①学生相談室 ②保健室	①、②学務課	①学生生活におけるあらゆる相談 ②学生生活における心身の悩み
	34 釧路短期大学	有	①教務・学生課 ②学生相談室 ③保健相談室	①教務・学生課 ②学生相談室運営委員会 ③保健相談室	①、②、③学生生活全般・健康・就職など
	35 光塩学園女子短期大学	有	①学生部 ②保健室 ③相談室オアシス	①生活指導、課外活動など・学生生活全般にわたる指導、助言、相談など ②心身の健康管理、衛生管理など ③心の相談など	①学生生活全般 ②持病、傷病に関する相談・対人、恋愛に関する相談 ③人間関係、自分自身の問題や悩みなどあらゆる相談
	36 札幌大谷大学短期大学部	有	①保健室 ②学生相談室	①学内で発生した怪我や体調不良の応急処置・対応 ②学生生活において起こりうる問題の相談	①身体面の相談（頭痛、生理痛など） ②性格、対人関係、修学の困難さ、メンタルヘルス
	37 札幌国際大学短期大学部	有	①保健室 ②学生相談室 ③学生サポートルーム	①健康 ②心理 ③生活	①健康に関すること ②様々な問題や悩み ③福祉的なこと・合理的配慮について
	38 札幌大学女子短期大学部	有	①学生課 ②学生相談室 ③医務室	①私生活、学生生活、健康等 ②①同様 ③①同様	①私生活、学生生活、健康等 ②①同様 ③①同様
	39 函館大谷短期大学	有	①こころの相談 ②健康の相談	①、②学生支援部	①学生生活上の学業や対人関係、心の健康について、週2回相談室を開室。相談者はメールにて事前に予約申し込み。 ②学生の身体上の健康管理や新型コロナウイルス感染防止に向けた指導。
	40 北翔大学短期大学部	有	①学生生活支援オフィス ②学生相談室	①相談窓口 ②相談業務	①相談の窓口業務を担当 ②実際の相談業務を担当
	41 北海道科学大学短期大学部	有	①学生課 ②医務室 ③学生相談室	①学生生活やクラブ活動の支援、奨学金業務 ②健康診断などの健康管理業務、感染症の情報集約、障害学生支援 ③学生相談	①学生生活全般、奨学金等 ②健康相談等 ③修学、学生生活、就職、人間関係等
	42 北海道武蔵女子短期大学	有	①保健室 ②学生相談室	①学務課 ②独室組織	①健康・生活リズム など ②何でも相談。メンタル、心身症、学業、人間関係、ハラスメント、課外活動、進路(就活)、発達障害、恋愛 など